様式例　補６－１　　　　　　調整内容記録票【補聴器】　　　　　　　　　１／２

業者作成

令和　　　　年　　　　月　　　　日　　　　　　業者名

所在地

担当者名

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | 生年月日 | 大正　昭和　平成　令和　　　　年　　　月　　　日（　　歳） |
| 補聴器の調整デ｜タ | 名　称　　　高度難聴用ポケット型　　高度難聴用耳かけ型　　　　　　重度難聴用ポケット型　　重度難聴用耳かけ型　　その他　　　　　　　　　メーカー　　　　　　　　　　機種　　　　　　　　　　　　装用耳　　　　右　　　左　　　両耳※トリマー式の場合は、設定位置を図及び数値で記載ください。PC調整機種の場合は、下表又は調整結果（PC画面）の添付でもかまいません。音量調整　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　音質調整　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　出力制限装置（回路名）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　耳栓サイズ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　イヤモールド　　有　　　無　　　　　形　状　　　　　　　　　　　　　　　　　　材　質　　　　　　　　　　　　　　　　　　ベント　　有　（　　　　　ｍｍ）　　　無 |
| ※周波数毎の利得（入力音圧に対する増幅量）及び出力制限をご記載ください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 周波数 | 低周波数帯（　　　Hz） | 低中周波数帯（　　　Hz） | 高中周波数帯（　　　Hz） | 高周波数帯（　　　Hz） |
| 入力音圧 |
| 低入力（　　　　　dB） |  |  |  |  |
| 中入力（　　　　　dB） |  |  |  |  |
| 高入力（　　　　　dB） |  |  |  |  |
| 出力制限 |  |  |  |  |

 |

様式例　補６－１　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　２／２

|  |  |
| --- | --- |
| 補聴効果 | 業者作成----------貼り付け----------補聴器周波数特性装置により、フィッテング調整した補聴器の性能特性を記録すること。■　90dB入力最大出力音圧レベル周波数レスポンス曲線使用者が調整できる利得調整器を利得最大の状態にして90dB入力で測定する。■　60～90dB入力‐出力周波数レスポンス曲線使用者が調整できる利得調整器を推奨の音響利得状態にして入力音圧を60dBから10dBステップで90dBまで変化させてそれぞれ測定する。 |